

2022 年 7 月 18 日

2022 年度第 2 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2022 年度第 2 四半期決算を発表しました。

第 2 四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 当期純利益は 62 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.73 ドル)となりました。
- 税引前利益は 14%減少して 69 億ドルとなりました。これは、2021 年度第 2 四半期に比べて引当金の取崩しが少なかったことを反映しています。
- 収益(支払利息控除後)は、6%増加して 227 億ドルとなりました。
- 貸倒引当金繰入額は、21 億ドル増加して 523 百万ドルとなりました。
- 非金利費用は、228 百万ドル(2%)増加して 153 億ドルとなり、これには特定の法的規制問題に対して認識された約 425 百万ドルが含まれていました。
- 平均貸出金及びリース金融残高は、商業貸出金の大幅な増加及び消費者残高の増加により、1,070 億ドル(12%)増加して 1.0 兆ドルとなりました。給与保護プログラム(PPP)を除くと、平均貸出金及びリース金融残高は 1,240 億ドル増加しました。
- 平均預金残高は、1,230 億ドル(7%)増加して 2.0 兆ドルとなりました。
- 平均グローバル流動性は、1.0 兆ドルとなりました。
- 普通株式等ティア 1(CET1)比率は、10.5%(標準的アプローチ)となりました。普通株式配当及び株式の買戻しにより、株主に対して 27 億ドルを還元しました。
- 平均普通株主持分利益率は、9.9%となりました。平均有形普通株主持分利益率は、14.1%となりました。
- 普通株式 1 株当たり純資産は、2022 年度第 1 四半期から 1%増加して 29.87 ドルとなりました。普通株式 1 株当たり有形純資産は、2022 年度第 1 四半期から 1%増加して 21.13 ドルとなりました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。